

豊かな環境のまちをめざして

町では、豊かな環境のまちを目指し、様々な取り組みを行っています。今回はその一部を紹介します。

▼問合せ すこやか環境グループ ☎079(435)2721

アカミミガメの防除調査を実施しました

町内のため池や河川で平成25年頃から多数のアカミミガメ（通称ミドリガメ）が目撃されるようになりました。

特に多くのアカミミガメを確認できた狐狸ヶ池において、平成27年5月から防除調査を実施しました。

防除調査結果

▼防除期間 平成27年5月25日～28年2月1日

▼捕獲数 アカミミガメ 253匹
クサガメ 32匹

同じく外来種のクサガメと合わせて285匹のカメを捕獲しました。9割近くがアカミミガメで、在来種であるイシガメは確認できませんでした。また、ブルーギルやタイワンドジョウ、ウシガエルなどの外来生物も



★▲緊急対策外来種 アカミミガメ



▲ガガバタの葉に乗るアカミミガメ

確認されました。アカミミガメが、準絶滅危惧種に指定されている水生植物「ガガバタ」を食べていることも分かりました。

アカミミガメを捨てないで

狐狸ヶ池本来の生態系を復活させるため、平成28年度も防除調査を実施します。アカミミガメが再び大量繁殖しないよう、家庭で飼っているアカミミガメを野外に捨てないでください。

外来生物が生態系に与える影響

地域の生態系は、長い期間をかけてそれぞれの場所に合った自然のバランスにより成り立っています。そこに外来生物が侵入すると、捕食や交雑などによって、もともとその場

所で生活していた在来の生物との間で競争が起こり、在来生物の生活の場を奪ってしまいます。その結果、在来生物の減少や絶滅、地域の植生などのバランスが崩れるなどの影響があります。また、生態系のみならず、人間や農林水産業まで、幅広くに悪影響を及ぼす場合があります。*

※外来生物とは：元々その地域にいなかったのに、人間活動によって他の地域から持ち込まれた生物のこと。

★▲守りたいニホンイシガメ

アカミミガメをつかまよう!!

アカミミガメの防除調査のために、池に仕掛けた網の引き揚げ作業を行います。これに参加してくれる親子を募集します。

▼日時 5月22日(日) 午前9時45分～11時

(午前9時30分集合、小雨決行)

▼集合場所 狐狸ヶ池南側駐車場

(有料駐車場あり。1回200円)

▼募集組数 中学生以下の子どもとその保護者先着15組
※中学生は、保護者同伴でなくとも参加できます。

▼締切日 5月13日(金)

▼申込み・問合せ

すこやか環境グループ

☎079(435)2721



▲狐狸ヶ池



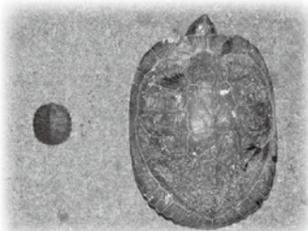
▲アカミミガメの捕獲作業

アカミミガメって?

原産地 アメリカ東南部
大きさ 20～30cm。在来のニホンイシガメより大型
食性 雑食性。魚類、水生昆虫、水草など何でも食べてしまう

特徴 目の後ろに赤い斑紋

- ・1950年代後半から幼体を「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入
- ・ペットとして飼育されていた個体が野外に放たれることなどにより、北海道から沖縄まで全都道府県に分布
- ・攻撃的な性格で、在来のカメ類が生息できる場所を占拠してしまう
- ・生態系などに被害を及ぼすことが懸念されることから、「要注意外来生物」に指定されていましたが、平成27年には、防除など対策の緊急性が高い「緊急対策外来種」に位置付けられました。



★▲左が幼体、右が成体

播磨町の環境への取り組み



☆▲3月20日、ホテルの幼虫を放流

野添北公園のホテル

野添北公園にあるビオトープ「ホテルの里」では「ふれあいエコアップ塾」の皆さんと（一財）播磨町臨海管理センターがホテルの育成に取り組んでいます。

昨年は、5月下旬から約1カ月にわたり、多い日は70頭を超えるホテルを見ることができました。

今年は3月20日にホテルの幼虫を放流しました。ホテルの発生状況はホームページでもお知らせしていきます。

ご存じですか?



▲ポイ捨て防止を呼び掛ける

土山駅前ポイ捨て防止キャンペーン

JR土山駅前において、春と秋にこみのポイ捨てや犬のふんの放置禁止を呼び掛ける街頭啓発活動を行っています。地元の方にも協力いただき、きれいな街づくりを目指します。

小型家電回収ボックスを設置しています

▼回収対象品目 携帯電話、デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、電子辞書、ゲーム機、携帯型音楽プレーヤー、ICレコーダー、電卓（投入口20センチ×30センチに入るもの）

▼設置場所 役場第1庁舎1階 すこやか環境グループ窓口

※風薫るフェスタ（4月29日祝）の大中遺跡公園健康コーナーでも、小型家電の回収をします。

レジ袋無料配布中止

ごみ減量と地球温暖化防止を推進するため、町内のスーパー4事業者と協定を締結し、4月1日より6店舗でレジ袋の無料配布中止に取り組んでいます。

▼協定締結事業者 マックスバリュ西日本(株)、(株)マルアイ、生活協同組合コープこうべ、兵庫南農業協同組合

※注 既にレジ袋無料配布を中止されていました。このたび協定を締結しました。



▲店頭ポスター



▲役場内の回収ボックス